

「創立125周年記念式典 盛会裏に終わる」

# 日体大 新たな歴史へスタート! リオ五輪・パラリンピック 日体大関係者大活躍

# 日 體

静岡県  
同窓会報  
(第三十三号)

発行  
日体大静岡県会報  
編集委員会  
発行日  
平成29年6月1日

## スポーツを通して

## 地方創生と健康づくり



日本体育大学静岡県同窓会  
会長 松田清孝  
(昭50卒)

日體三十三号の発行にあたり、同窓の皆様にご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、それぞれのお立場でご活躍されるとともに、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

皆様には、日頃から同窓会の活動にご理解を賜り、母校日体大はもとより、後輩の学生の支援等に、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年八月十日、元同窓会長 安達忠勝先生がご逝去され、多くの皆様がご会葬されましたが、改めてこの紙面をお借りし、心からご冥福をお祈りしたいと思います。

先生のご遺志を継ぎ、同窓の絆を一層強め、母校日本体育大学の発展に向け、一致団結しなくてはならない時を迎えていると考えております。

日体大百二十五周年記念川柳公募の受賞作「獅子躍り、リオに輝くサクラ花」が詠うように、昨年のリオ



五輪・パラリンピックでの日体大関係選手の活躍は目覚しく、権威ある英国タイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌による、世界の大学ランキングにおいて、学術部門の東大三十四位に比べ、体育スポーツ部門で日体大は世界九位にランクされています。もちろんアジア「ナンバール」でありますが、松浪健四郎理事長は「世界一の体育大学を目指す」と目標を掲げ、二〇二〇年東京五輪・パラリンピックに七十人の日体大関係選手を送り出す準備に余念がありません。

また、大学が「パラリンピアン育成」に力を入れていることも新たな潮流であると言えます。現在大学は、体育学部、児童スポーツ教育学部、保健医療学部、スポーツ文化学部を有し、加えて平成三十年度新設を視野に入れ「スポーツマネージメント学部」の設置申請中であり、まさに五学部九学科の総合大学の体を成さんとしております。

さらに学校法人日本体育大学は、全国の自治体と連携協定を締結し「スポーツを通して地方創生と健康づくり」の具現化に向け、四十を超す自治体と事業を展開しており、日本列島に日体の風が吹いております。

こうした動きに呼応して、都道府県同窓会も、優秀な生徒・選手を大学に送り込むとともに、学生の教職や企業への就職活動を強力に支援する事業を展開して行かねばなりません。

去る二月二十八日、世田谷キャンパスにおいて、二十名以上の日体大生とその保護者の参加を得て、就職対策研修会を開催いたしました。教員採用試験対策、民間企業及び公務員試験対策等について、県内中高の